Online

世界最先端のSCM理論を
実践できる人財を育てる！

goldratt SCHOOL

個社対応

ゴールドラットスクール国際資格認定プログラム
Goldratt Master Executive Certificate for Holistic Supply Chain Management

全体最適のサプライチェーンマネジメント ＤＸエキスパートコース

www.goldrattschool.jp

Breakthrough thinking in action

全体最適のSCM-DXエキスパートコースについて

全世界で1000万人が読み、各地で幅広い分野で目覚ましい成功事例が続出している『ザ・ゴール』。この本の著者エリヤフ・ゴールドラット博士が開発した全体最適のマネジメント理論がTOC(Theory Of Constraints)です。TOCは開発したゴールドラット博士の意向もあり、20年間近く、その最先端の手法が日本に紹介されることが封印されてきました。現在、日本に紹介されているTOCの多くの手法も実は10－20年前に開発されたものです。この期間も、そして現在もTOCは進化しつづけ、生産、ロジスティックス、サービス、プロジェクトマネジメント、行政、教育、組織問題、経営会計手法など、さまざまな分野に展開され、目覚ましい成果を出し続けています。

ゴールドラット博士はSCMの理論的土台を創った人と評価されているのは言うまでもありません。博士の本にあるサプライチェーンに関する様々な事例は、夢物語のフィクションではなく、現実の事例であるとともに、再現性のある科学理論として構築されています。全体最適のサプライチェーンの科学理論は、サプライチェーン上のあらゆるステークホルダーをすべてWin-Winでつないでいきます。また、「データは見える化されているのに、それが現場の改善行動になかなかつながらない」という問題は良く言われるところですが、トップから現場まで自律的に全体最適で行動ができるようになります。それが、組織にゆとりをもたらし、組織の不調和の源泉を取り除き、複雑な管理業務にシンプルさをもたらし、既成概念を変えて、迅速に成果を出すことにつながっています。

目覚ましい成果を出す全体最適のサプライチェーンマネジメントの理論を学び、それを実践できるSCMリーダーを育成するのが今回のプログラムの目的です。コース受講期間中は、自然科学と同じように理論に基づいた公式を学び、博士自らが開発に携わったソフトウェアをコースの中で利用し、自社データを通して検証していきますので、効果を実感していただくことが可能です。このプログラムは、座学だけではなく、学んだことを現場で実践し、成果を出すことを基本としています。この研修期間は、個別の事情に合わせて一人ひとり丁寧にフォローするとともに、実践指導をさせていただきます。

- ６日間の座学で、世界のトップエキスパートからTOCのサプライチェーン実践知識体系を取得
- 実データ運用による、財務的効果の確認
- 成果とこれからの水平展開で得られる効果の報告書まとめ
- 実践成果報告合格により、Goldratt Master of Holistic Supply Chain Expert国際資格認定

ワークショップで、自社の課題を活用しながら知識を学び、実データの分析を通して、より理解を深めていく実践プログラムとしてデザインされています。理論と実践。これが本コースの特徴です。

検討をお勧めする企業

- 組織全体に成果をもたらすSCMリーダーを育成したい企業
- 販売、生産の全体最適の改革を実践できる人財を育成したい企業
- 全体最適のサプライチェーンを学び、実践で成果を出したい企業
- 目覚ましい成果を出す次世代の経営幹部を育てたい企業
- TOCによって、すでに成果を出しているが、今後も成果を出し続けるための基盤を強化したい企業

TOCの特徴は、抜群の即効性。ごく短期間に目覚ましい成果を出すことが世界中の現場で実証されています。自己流で様々な試行錯誤を繰り返すよりも、世界のトップエキスパートからしっかりと学んで、自社で応用問題を解き、実践して短期間に成果を出す。リードタイム削減、在庫削減、キャパシティ向上、売上向上、利益向上など、様々な成果を生みだし、抜群の投資対効果を実現していきます。数字面での成果はもちろんですが、多くの方々が驚かれるのは「人の成長」。「目覚ましい成果はもちろんだが、何よりもの成果は人が育ったこと。職場に広がる協力の和、従業員のやりがい・はりあい。こんな会社に私はしたかったんだ！」と多くの経営者が口を揃えて語られます。

このプログラムで、大幅な過剰在庫を削減し、その資金を活かして、新本社・工場・新店舗投資、システム更新の莫大な費用をまかなうなどの事例もあります。システム部門は投資対効果が一般に見えにくいものと思われがちですが、このプログラムでは投資対効果を明確にできるというメリットもあります。

受講には特別な前提知識は必要ありません。調達、生産、営業、SCM、IT、財務など組織の横串のチームでご参加頂けますとより効果的です。プログラムは、zoomを利用したオンライン形式での開催も可能ですので、全国に拠点がある場合でも、出張にかかる時間や費用を気にすることなく参加頂けます。

全体最適のマネジメントを実践し、成果を出す人財育成につなげたいと考える企業におすすめのプログラムです。世界のトップエキスパートの直接指導を受けながら、現場で目覚ましい成果を出す、比類なき投資対効果が見込める画期的なプログラムとなりました。TOCの普及をミッションとするゴールドラットグループならではの取り組みです。この機会に是非ご検討ください。

参加者の声

「適正在庫」の定義を共通理解にできたことで、増やせ・減らせの声に惑わされない業務に変えていけそうです。

勘と経験と度胸に頼らず、ロジカルにみんなの納得がいく在庫マネジメントができる

これまでの担当者がまもなく定年という時期に、若手が育成できたのが大きかった。

自社のデータで実際にやってみると欠品があっという間に4分の1になりました！

サプライチェーン全体が色で見えるっていいですね。こんなシンプルなことならもっと早くやりたかった。

異なる部門のメンバーで集まって、同じ公式を使って議論できると、より良い答えがみえてきました。

プログラム概要

ー 計6日：各回1日 x 3ヶ月 ー

開始時刻は9:00、**終了時刻**は17:00～18:00の間を予定しております

第１回 １日間

全体最適のサプライチェーンの理論と実践事例を学ぶ

- 全体最適のマネジメント理論TOCとは
- 自動車産業から学び、他産業に適用できる本質「流れの４つの概念」を学ぶ
- 在庫の流れをマネジメントする：「いかにして欠品せずに過剰在庫を削減するか？」
- SCMで成果を出した会社と、そうでない会社の違い
- サプライヤ、メーカー、小売り、それぞれの悩みの考察
- 世界標準の在庫管理アルゴリズムMin-MAXの数学的誤り
- AI活用が有効な領域、そうでない領域の判断方法
- 各産業の事例から学ぶ
- 全体最適のサプライチェーンを実現するためのITシステムに求められるのは？

第２回 １日間

流れに着目した全体最適のサプライチェーンモデルで財務的効果を検証する

- TOC流の全体最適のサプライチェーンモデリングを学び、適正在庫の場所と数を理解する
- 商品ライフを通したお金の出入りを整理し、全体最適の意思決定による改善の可能性を評価する
- ありたい姿を共有する一枚の絵で、異なる部門や会社の意識をつなぐ
- サプライチェーン改革によりもたらされる欠品改善、過剰在庫削減、利益増などの財務インパクトを試算する

第３回 １日間

世界最先端の在庫マネジメントアルゴリズムDBMの理解を深める

- 「需要連動」と「需要先読み」発注の組み合わせ方と適用タイミング
- 「通常」と「例外」を分ける、単品管理のらくらくオペレーション設計
- 需要変動のシグナルとノイズを判別し、シグナルだけに反応する「ＳＮ検定」
- DBMによる基準在庫設定見直しの体験
- シーズン商品、新商品、キャンペーン対応などの応用例
- サプライチェーン一気通貫の色付き見える化を体験*する
- 過剰在庫金額と、機会損失金額を評価する

*ゴールドラット博士自らが仕様策定に関わったイスラエルのソフトウェアを試用します

第４回 １日間

全体最適のサプライチェーンに向けた、X（トランスフォーメーション）の準備

- 実行への懸念・障害を洗い出し、トランスフォーメーション推進の工程表を作る
- 何のルールをどのように変えていけばよいのかを整理する
- 巻き込まないとならない関係者を「ステークホルダーマップ」で整理する

第５回 １日間

変革を実現するリーダーに欠かせない知識体系を学ぶ

- 周囲の協力を得るための必要かつ十分条件を満たすための「変化の４象限」のロジックを学ぶ
- 相手の抵抗に対して、あらかじめ万全な準備を整えるための「抵抗の６階層」を学ぶ
- 実際に説得したい相手に対して、提案を作成し、学びを深める
- ロールプレーで提案の質を高め、相手を真の協力者にする

第６回 １日間

成果発表会

- 成果発表会
- まとめ（クロージング）
- 認定書授与式

基準に達した方には、ゴールドラットスクール国際資格 Goldratt Master of Holistic Supply Chain Expert を授与します

※各回の間ではリモートサポートあり

goldratt SCHOOL

【お問い合わせ】gs-japan@goldrattgroup.com